

一般社団法人 社会医学系専門医協会
2023年度(2023.7-2024.6)事業計画

【期間】

第七期：2023(令和5年)年7月1日～2024(令和6年)年6月30日

【事業計画】

1. 社会医学系の専門医、指導医の育成と生涯学習に関する事業

1) 指導医講習会の開催

各学会・団体で年1回程度開催

※現状はeラーニングでも1回分受講可

2) 統括責任者連絡会議の開催

3) 基本プログラム講習会の開催

基本プログラムの更新を行うことを計画します。講習会形式での開催は計画していません。

4) 必修共通科目(安全・感染対策・倫理)について開催

各団体で開催するときはK単位としてカウントすることも可

大学病院やどこかのEラーニングはK単位も付与

基本プログラムの中も付与

※更新ルール(特に変更点がわかるようなかたちで)整理のうえ周知・徹底の発信を専門医指導医認定委員会にて行う。

5) eラーニングの活用と運営

社会医学系eラーニングコンソーシアムの共同運営および基本プログラムのeラーニングコンテンツの拡充等、eラーニングの有効な活用を促進する

6) 更新研修会の開催(更新研修会=専門医・指導医が貯めるための研修会)

更新ルールのさらなる周知・徹底 ……主催主体は各学会/団体主体?

K単位研修:構成団体(情報掲載と名簿報告を協会に送る)

受講証明:構成団体が発行・回収(ひな形は依頼があれば)

確認は専門医・指導医認定委員会の確認

協会直営と各団体の主体の事業を分けて表記する。

2. 社会医学系専門医、指導医の認定に関する事業

1) 専門医・指導医認定委員会の開催

専門医・指導医認定委員会を下記の通り5回開催する。

回数	開催日	概要
第1回	2023.9.XX	第5回専門医認定試験の合否判定 試験の振り返り
第2回	2023.12.XX	更新保留者からの申請案件の審査 更新申請の状況の報告 更新審査の方法の確認
第3回	2024.1.XX	更新保留者からの申請案件の審査 更新申請の状況の報告 更新申請に係る審査（更新、保留、延長、辞退・逝去、未反応に分類）
第4回	2024.2.XX	更新保留者からの申請案件の審査 更新申請の状況の報告 更新申請に係る審査（更新、保留、延長、辞退・逝去、未反応に分類） 2024年の更新申請に向けた課題の整理 第6回専門医試験実施要項の検討 専門医、指導医の追加認定基準に関する検討
第5回	2024.6.XX	第6回専門医認定試験の受験資格審査 第6回専門医認定試験の実施方法（試験分科会からの報告） 更新保留者からの申請案件の審査 「専門医・指導医の更新について（更新手続き・今後のスケジュールのご案内）」（2024年度更新申請用）の検討

2) 専門医・指導医の認定・登録、認定証の交付

3) 専門医認定試験の実施と運営

試験分科会を、下記の通り4回開催する。

試験実施要綱など情報発信、試験の準備を行い、2023年9月に第5回専門医認定試験を実施する。（2023年9月3日を予定）

回数	開催日	概要
第1回試験分科会	2024.3.XX	専門医認定試験実施要項の検討 目視による監督か、AI監視システムを活用するかの検討 試験問題の範囲の検討 実践レポートの主分野・副分野の割り振りに関する検討
第2回試験分科会	2024.4.XX	専門医認定試験実施要項の検討

		面接試験の実施方法の検討 グループワークの実施方法の検討
第3回試験分科会	2024.5.XX	試験問題のブラッシュアップ
第4回試験分科会	2024.6.XX	試験問題のブラッシュアップ

4) 専門医・指導医資格更新基準の理解の普及

5) 専門医、指導医の追加認定基準に関する検討と制度化

- ・ まだ専門医や指導医の普及の余地があるため、十分に適切な実績・研修等をもって専門医や指導医を認めることについて、2022年6月の理事会で提案された「社会医学系専門医制度に関する今後の方針に関する提案」を基に、具体的な基準の検討と制度化をさらに進める。
- ・ ただし、その際も、専攻医の研修を経て専門医になりさらに経験を積み実力を向上し指導医になるという本来の道筋の魅力を損なうものであってはいけない。

6) 専門医制度の法制化を目指した活動

標榜できる専門医、法的に位置づけのある専門医（研修プログラム変更等に厚労大臣の許可が必要）となることを目指し、情報収集を含む必要な活動を行う。

三師調査に掲載されるよう医事課長に働きかけを行う（7月第1、2週）。

実態として公衆衛生の役割を担っていることを見せしていくことを検討する（公的委員として活躍している人、公衆衛生系教授の表記、教授選考の要件に加えられるようロビーイング活動等）。

（担当：前田理事、亀田幹事、杉山幹事）

3. 専門研修プログラムと研修施設の認定に関する事業

- 1) 研修プログラム認定委員会の開催(年間4回を予定)
- 2) 研修プログラムの登録申請受付、認定、登録
- 3) 全国の研修プログラムの質管理(各プログラムの年次報告をまとめる、フィードバックする)
- 4) 基本プログラム相当の講義等の新規認定、維持・更新
- 5) 研修記録の様式の更新

4. 社会医学系専門医制度の評価と発展に関する事業

1) 企画調整委員会の開催

年4回程度、電子的開催が中心(対面会議は2回まで)
総会・理事会の審議事項のレビュー等

2) 広報の検討

学会等での展示

第82回日本公衆衛生学会総会(令和5年10月31日—11月2日、つくば)にて
その他の学会等でも実施したい(無人ブースであっても)

ニュースレターとメルマガ

従来 of 形で継続する予定

3) 連携の検討

・日本医学教育学会との合同シンポジウム(第55回日本医学教育学会大会2023/7/28~29)

医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度版)からみた社会医学・公衆衛生学教育

座長:磯博康先生(国立研究開発法人国立国際医療研究センター国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センター)

錦織宏先生(名古屋大学大学院医学系研究科総合医学教育センター)

シンポジスト:

1. 錦織宏先生(日本医学教育学会)
2. 安村誠司先生(衛生学・公衆衛生学教育協議会)
3. 宮地純一郎先生(医学教育学会・社会科学行動科学部会から)
4. 亀田義人先生(社会医学・公衆衛生学領域)
5. 今中雄一先生(社会医学系専門医協会)
6. 総合討論

・第82回日本公衆衛生学会総会でのシンポジウム(2023/10/31~11/2)

VUCA時代に対応可能な医師の確保・育成:公衆衛生学を見据えた医学教育からキャリアへの展開(仮題)

座長:磯博康先生(国立研究開発法人国立国際医療研究センター国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センター)

今中雄一先生(京都大学大学院医学研究科)

シンポジスト:

1. 和田裕雄先生(社会医学系専門医協会)
2. 錦織宏先生(日本医学教育学会)
3. 渡邊毅先生(専門医機構・日本内科学会)
4. 今中雄一先生(社会医学系専門医協会)
5. 総合討論

・American College of Physicians (ACP) Japan Chapter(米国内科学会・日本支部)

年次総会・講演会 2024 への参加を検討頂く。

1. 今後、合同シンポジウムを企画・検討する。
2. 医療機関紹介企画での広報動画(2022年度・2023年度実績 5.5万円)

4) 社会医学系の医師人材の確保・育成の促進

「公衆衛生等の社会医学系分野で活躍する医師の育成・確保に向けた研究(2019-2020年度、研究代表 磯博康先生)」「シームレスな垂直・水平統合を指向した社会医学系領域の医師のキャリアとコンピテンシーの確立」(2021-2022年度、研究代表 和田裕雄)が終了年度を迎えた。様々な成果物があり、社会医学系専門医協会に引き継いだ。是非、活用いただきたい。

成果物の例:

マンガ、動画、インタビュー記事など

プライバシーポリシー改定と専攻医・専門医・指導医への調査が可能となったこと

5) 社会医学系専門医・指導医に関するデータおよびそれを用いた研究について

プライバシーポリシーの改定

研究データの解析・発表を行う予定

6) その他、当制度のレビューと維持・発展に関する検討

5. 社会医学系専門医の普及及び啓発に関する事業

- 1) ニュースレターの発行(年4回予定)、専門医・指導医の取得・更新に関する単位の情報載せる
- 2) メルマガの配信(専攻医・専門医・指導医あてに重要なお知らせ、適時)
- 3) ホームページの更新(随時)

広報のページに厚労科研で作成したコンテンツを載せている。

4) 上記の他、広報に関する事項

5) 当協会の役割についての更なる検討

一般の人々も含めた公衆衛生の普及、社会医学系の医師の確保の推進などの当協会の役割についてもさらに検討していく

6. 法人運営のための事業

1) 定時社員総会の開催

定時社員総会:2023(令和5)年9月頃に開催。

臨時社員総会:理事の交代の承認など随時開催。

2) 理事会の開催

年3回開催

2023(令和5)年9月XX日 決算(定時社員総会の前)

2024(令和6)年3月頃 協会運営に関する事項の検討

2024(令和6)年6月頃 事業計画、収支予算等

3) 業務執行理事会の開催

適時開催(各総会・理事会前など)

「計画の進捗管理、課題の洗い出しと対応、予算管理、収支管理、情報管理システムの検討等」

4) 事務局業務の効率化について

事務局機能の管理、業務の効率化・システム化を行う

以上

2023年度 社会医学系専門医協会予算

科 目	2023年度予算	2022年度予算	差額	備考欄
(収入の部)				
事業収益	38,500,000	42,500,000	△4,000,000	経過措置認定の主なものが終了したため
申請料収入	6,000,000	10,000,000	△4,000,000	受験及び更新 合計 600人
専門医試験料	800,000			新設
更新審査料	5,150,000			新設
特例措置審査料	50,000			新設
認定登録料収入	9,000,000	15,000,000	△6,000,000	受験及び更新 合計 600人
年間登録料収入	17,500,000	17,500,000	0	
雑収入	143,651	10,000	133,651	
受取利息	10,000	10,000	0	
雑収益	133,651	0	133,651	
当期収入合計 (A)	38,643,651	42,510,000	△3,866,349	
前年度からの繰越金	100,000,000	50,000,000	50,000,000	
収入合計 (B)	138,643,651	92,510,000	46,133,651	
(支出の部)				
事業費	49,026,640	45,319,140	3,707,500	
事業経費	49,026,640	45,319,140	3,707,500	
旅費交通費	7,380,000	6,080,000	1,300,000	オンライン再開を想定
通信運搬費	2,335,000	3,355,000	△1,020,000	認定証の送付減への対応
支払い手数料	116,640	116,640	0	
消耗品費	700,000	700,000	0	更新事務作業への対応
印刷製本費	2,385,000	4,425,000	△2,040,000	認定証の印刷減
コピー・プリント代	1,500,000	1,500,000	0	
認定証等印刷費	90,000	2,850,000	△2,760,000	
パンフレット・チラシ印刷	75,000	75,000	0	
諸謝金	2,960,000	1,560,000	1,400,000	基本プログラム更新への対応
租税公課	70,000	70,000	0	
会議費	2,850,000	2,512,500	337,500	オンライン再開を想定
委託費	15,330,000	15,000,000	330,000	試験対象の増加と委託内容の見直し
協会事務局委託	12,000,000	13,250,000	△1,250,000	
公認会計士委託	330,000	0	330,000	
専門医試験事務委託	3,000,000	1,750,000	1,250,000	
調査活動費	2,000,000	100,000	1,900,000	
研修費	300,000	300,000	0	
雑費	1,000,000	1,000,000	0	
Eラーニング保守費	4,100,000	4,100,000	0	
開発保守費	7,500,000	6,000,000	1,500,000	
当期支出合計 (C)	49,026,640	45,319,140	3,707,500	
当期収支差額 (A) - (C)	△10,382,989	△2,809,140	△7,573,849	
次期繰越収支差額(B) - (C)	89,617,011	47,190,860	42,426,151	